

夢の実現へ、一歩ずつ歩み続ける力を

校庭の木々が芽吹き始め、風の中に春の訪れを感じる季節となりました。保護者の皆様、地域の皆様におかれましては、この一年間、本校の教育活動に対して多大なるご理解とご協力を賜りましたこと、心より厚く御礼申し上げます。

先日の卒業証書授与式では、小学校31名、中学校29名の卒業生が、この学び舎を力強く巣立っていきました。卒業証書授与式の中で、卒業生に送ったメッセージは、本校の教育目標そのものである「夢に向かって学び続けること」の大切さです。小学校では、冬季オリンピックで金メダルを獲得したフィギュアスケートの「りくりゅうペア」の物語を紹介しました。彼らの道のりは決して順調なものばかりではなく、思うような演技ができず悔しい思いをしたこともありました。それでも二人は「オリンピックで金メダルを取る」という大きな夢を諦めず、悲願の金メダルを手にした際、木原選手が語った「ここまで続けてきてよかった」という言葉には、努力を続けた人だけが知る深い重みがあります。

中学校では、江戸時代に日本地図を作った伊能忠敬を紹介しました。彼は五十歳で家業を譲った後、二十歳も年下の先生について、若者に混じって本格的に天文学を学び始めました。「地球の大きさを正確に知りたい」という夢を抱いた彼は、五十五歳で東北・北海道への測量の旅に出ます。一日に三十から四十キロを歩き、昼は海岸線を測量し、夜は北極星の観測を続けるという過酷な旅を十七年間も続けました。歩いた距離は地球一周分に当たる約四万キロに及び、彼が完成させた地図は、世界を驚かせるほどの正確さであったと伝えられています。

この二つの内容に共通することは、「夢は待っているだけでは近づいてはこない」ということです。自ら一歩を踏み出し、日々の努力を積み重ねることによってこそ、夢は少しずつ現実へと近づいていきます。

卒業生の皆さんが本校で積み重ねてきた努力は、これからの人生を支える大切な土台となります。そして、その姿は在校生の心にも確かに受け継がれていきます。先輩の姿に憧れ、追いつき、追い越そうとする中で、学校全体がさらに成長していくことを期待しています。

学校ホームページに学校評価を掲載しました

今年度の本校の教育活動の取り組みについて、保護者、児童生徒、教職員、学校評議員の皆様にご評価いただいた最終結果をホームページに掲載しております。

右の2次元コードを読み取っていただくとアクセスすることができます。ご覧ください。

